

ふりがな	ふじわら あきふみ			
氏名	藤原 明文			
所属・役職	株式会社インサイトラボ 代表取締役 TURNSアドバイザー/カフェズライフアドバイザー 広島修道大学非常勤講師			
所在地	兵庫県			
略歴	<p>～2014年 ・大学卒業後、社会(地域)課題を解決するドゥタンク企業にて16年間勤務。企業の資源リサイクルや環境リスクマネジメント、CSR・CSV施策支援部署の責任者、ホールディングスの経営戦略及びグループ社員のキャリアデザイン推進責任者を経て2008年からローカルビジネス推進及びローカルチャレンジャーサポート事業責任者として従事。</p> <p>2014年 ・株式会社インサイトラボ設立。 ・TURNSアドバイザー就任。(現在に至る) ・広島修道大学 人間環境学部非常勤講師就任。(現在に至る) ローカルキャリアデザイン論、ソーシャルビジネス論担当。 ・グラフィックファシリテーションを提供する「しごと総合研究所」ビジョナリーパートナー就任。(現在に至る)</p> <p>2015年 ・総務省地域力創造アドバイザー就任。(現在に至る)</p> <p>2016年 ・ローカルカフェ創業を応援する実践型カフェ開業スクール「カフェズライフ」アドバイザー就任。(現在に至る)</p> <p>2019年 ・広島修道大学国際コミュニティ学部非常勤講師就任。(現在に至る) 自分資源創造論、地域資源創造論、地域ビジネス論、ソーシャルビジネス論担当。</p> <p>2021年 ・一般社団法人ユニテ設立、理事就任。(現在に至る) ・ローカルデザインラボ(LDL)設立。代表就任。(現在に至る) →「ローカルをもっとおもしろく。」「あたらしいふるさとをつくろう。」の2つをスローガンにした人と地域をつなぐオンラインとオフラインのハイブリッド型コミュニティ運営。</p> <p>2023年 ・広島県中山間地域のDX推進アドバイザー就任。 ・ジェイフィール公認ファシリテーター就任。(現在に至る) 上場企業向けミドルマネジャー育成支援プログラムを実施サポート。 ・ベンチャー企業人的資源開発アドバイザー就任。(現在に至る)</p>			
地域おこし協力隊に関する実績	これまでの経験業務	<p>・2008年からバイオマス発電所から牧場の立ち上げなど様々なローカルビジネス推進と並行して、2009年からローカルチャレンジャーをサポートする農林水産省「田舎で働き隊」や総務省「地域おこし協力隊」の採用からフォローアップ業務の責任者として、全国60以上の地域で支援実施。</p> <p>・2012年から全国メディア「TURNS」創刊に参画し、地域おこし協力隊の活動内容についての情報発信をスタートし、2014年からTURNSアドバイザーとして、地域おこし協力隊の情報発信に注力し、現在に至る。</p> <p>・2014年独立後は、上記の経験を活かし、TURNSでの全国への情報発信に加えて以下の地域おこし協力隊サポート業務を実施。</p> <p>①大学で実施している自分資源創造論と地域資源創造論をブラッシュアップさせたローカルキャリアデザインプログラムを地域おこし協力隊向けのオリジナルプログラムとして協力隊受け入れ各市町村で実施。</p> <p>②県や市町村での協力隊及び職員向け研修。「隊員向け初任者研修やナリワイづくり研修」「職員向け隊員面談や目標設定等のフォローアップ研修、協力隊募集採用研修」、広域エリアでの合同研修会などの企画及び実施。</p> <p>③移住推進及び関係人口創出拡大、地域おこし協力隊募集につながる「ローカルチャレンジスクール」の企画運営業務の実施。</p>		
	これまでに関与した地域おこし協力隊に関するプロジェクト	<p>・2014年の独立以降、以下のプログラムを自治体様にご提供させて頂きました。</p> <p>①大学で実施している自分資源創造論と地域資源創造論を組み合わせたオリジナルのローカルキャリアデザインコンテンツを地域おこし協力隊フォローアッププログラムとして支援実施。 →兵庫県朝来市、鳥取県智頭町、新潟県糸魚川市、兵庫県神河町、広島県三原市等の市町村等10地域以上。</p> <p>②県や市町村での協力隊及び職員向け研修。「隊員向け初任者研修やナリワイづくり研修」「職員向け隊員面談や目標設定等のフォローアップ研修、協力隊募集採用研修」、広域エリアでの合同研修会などの企画及び実施。 →兵庫県庁、熊本県庁、福岡県庁、兵庫県朝来市、神河町、鳥取県智頭町、新潟県糸魚川市、広島県三原市、備後圏域地域おこし協力隊合同研修会、中国5県地域おこし協力隊合同研修会など30地域以上。</p> <p>③地域おこし協力隊の募集支援(募集要項作成から各種メディアを活用した情報発信支援や、協力隊募集研修と募集伴走支援、協力隊募集と関係人口創出につながるローカルチャレンジスクールの企画及び実施。 →全国の県や市町村150地域以上。</p>		
助言可能な内容	◎	募集企画の作成・魅力度の向上	○	任期終了後の支援
	○	受け入れ態勢づくり、受け入れの増強		都道府県のOBOGネットワークの推進
	○	市町村のサポート体制の強化	◎	※ローカルキャリア面談 その他(詳細は以下に記載)
	○	情報発信の強化	※初期から採用までの隊員面談についての助言。 →ミスマッチを防止する為には協力隊希望者との丁寧なご意見交換(面談)が必要です。自分らしい生き方・暮らし方・働き方を言語化していくローカルキャリア面談方法について助言可能です。	
	△ (お試しのみ)	地域おこし協力隊インターン等の活用推進		
自治体へのメッセージ	地域おこし協力隊制度を活用するうえで大切なことは、隊員と受け入れ地域/職員の皆さんが、「こんなはずじゃなかった」ではなく、「この地域でよかった」「あなたでよかった」と互いに心から思えることです。課題はたくさんありますが、その解決に向けてご一緒させて頂ければ幸いです。			